

25. 悪性骨軟部腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術				化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
			切・離断術	患肢温存術	再建術	骨移植術		体外照射	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野			
1	耳鼻咽喉科	3	1	状況	○	×	×	×	○	×	×	全国でも現在331名のほかの集学的治療指定医師が在籍しています。頭頸部領域でこの認定を受けている者はごくわずかです。頭頸部領域の癌では、嚥下や発声などの機能温存の面から、放射線化学療法が有用で、この治療に精通しています。放射線化学療法のみでは、特に大きなリンパ節転移があったり、腫瘍が巨大であったりする場合は残存することが多くあります。このため、放射線化学療法、主に悪性腫瘍(がん)を対象に放射線治療をおこなっています。又、新病院開院時より、リニアックを導入し、年間約250名の治療をおこなってきました。また、エクスナイフを用いた脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植の前処置としての全身照射をおこなっています。	ア	耳鼻咽喉科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
2	放射線科	2	2	状況	×	×	×	×	×	○	×	全国でも現在331名のほかの集学的治療指定医師が在籍しています。頭頸部領域でこの認定を受けている者はごくわずかです。頭頸部領域の癌では、嚥下や発声などの機能温存の面から、放射線化学療法が有用で、この治療に精通しています。放射線化学療法のみでは、特に大きなリンパ節転移があったり、腫瘍が巨大であったりする場合は残存することが多くあります。このため、放射線化学療法、主に悪性腫瘍(がん)を対象に放射線治療をおこなっています。又、新病院開院時より、リニアックを導入し、年間約250名の治療をおこなってきました。また、エクスナイフを用いた脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植の前処置としての全身照射をおこなっています。	ア	放射線治療センター	掲載なし	掲載あり	掲載あり
				実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
3				状況									ア	http://			
				実績										イ	http://		
4				状況									ア	http://			
				実績										イ	http://		
5				状況									ア	http://			
				実績										イ	http://		

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫
------------------------------------	--